

平成23年度第1回
石狩浜海浜植物保護センター運営委員会

日時:平成23年6月9日(木) 10時～

会場:石狩浜海浜植物保護センター

会議次第

1. ふるさと海辺フォーラムへの参加について
2. 名取・七ヶ浜ハマボウフウの会支援について
3. 今年度の予定について
4. その他

フォーラム参加について

海辺の保全に関わる地域との交流を通じて、今後の保全活動の課題を整理するとともに、石狩浜の活動を紹介することで、各地で保全活動を進める上での情報を提供する。また、被災からの復興へ向けて活動を再開した名取ハマボウフウの会、七ヶ浜ハマボウフウの会を応援する。

1. 活動報告の内容

5/29 海辺の風景再発見フォーラムの報告、
保護区の拡大に向けた動きなど
名取・七ヶ浜支援に向けた取り組み（情報の発信等）について

2. 参加予定者 石狩浜海浜植物保護センターから内藤

3. 日程等は別紙参照

4. その他、委員のみなさまから、参加にあたり必要と考えることなど提案があればお知らせください。

名取・七ヶ浜ハマボウフウの会支援について

1. 名取ハマボウフウの会、七ヶ浜ハマボウフウの会の活動する海岸の復興の状況について随時情報をもらい、センター展示、通信誌、HP 等で発信する。

2. フォーラム参加とあわせ、現地で何が必要か、求められているか、把握してくる。

平成 23 年度石狩浜海浜植物保護センター行事予定

日時	行事名	集合	対象	定員	備考
5/14 (土) 9:00~15:00	自然観察会「石狩浜マクンベツ湿原野鳥と花の観察会」	9:00 石狩市役所	小学 4 年生以上 (小学生は保護者同伴)	30 人	
5/29 (日) 14:00~17:00	海辺の風景再発見事業 フォーラム「いのちあふれる石狩湾 ～海と海辺、魅力とこれからを語る～」	開場 13:30～ 道民活動センターかでの 2・7 (札幌市中央区北 2 条西 7 丁目)		150 人	参加費無料
6/25 (土) 9:00~16:00	海辺の風景再発見事業 自然観察会「海辺の風景再発見の旅」	9:00札幌駅北口バスターミナル または 9:30 石狩市役所	小学 4 年生以上	40 人	石狩市役所解散は 15:30 札幌駅解散は 16:00
7/16 (土) 10:00~15:00 (予定)	石狩浜自然案内人養成講座 海浜植物の学習と、自然教室の案内やサポートのテクニクを習得します。	9:30 石狩市役所または 9:50海浜植物保護センター	高校生以上	15 人	参加費無料
7/31 (日) 9:00~16:00	海辺の風景再発見事業 自然調査体験「海辺の草原生き物調査隊」	9:00札幌駅北口バスターミナル または 9:30 石狩市役所	小学 4 年生以上	30 人	石狩市役所解散は 15:30 札幌駅解散は 16:00
7/23・24、7/30・31、 8/6・7 (いずれも土・日) 11:00~15:00	夏のミニ自然教室 「海辺の素材でクラフト遊び」 「海浜植物観察園ガイドツアー」	開催時間中出入り自由	5 歳以上	なし	参加費無料、申込不要
8/4 (木) 10:00~15:00	海辺の草木染教室 「海浜植物で染めてみよう」	9:50 海浜植物保護センター	小学生以上 (3 年生 以下は保護者同伴)	10 人	通常参加費プラス材料費(染める布)実費分。 エプロンまたは汚れてもいい服装で。
8/27 (土) 10:00~15:00	自然教室「ハマナスのジャム作り&クラフト教室」	9:50 海浜植物保護センター	小学生以上 (3 年生 以下は保護者同伴)	20 人	果物ナイフ・スプーン(種取用)を持参
9/10 (土) 9:00~12:30 (予定)	自然観察会「石狩浜 渡り鳥と秋の草花観察会」	9:00 石狩市役所 (予定)	小学 4 年生以上 (小学生は保護者同伴)	30 人	
10/1 (土) 10:00~15:00	自然教室「砂で作ろう～砂時計と砂絵に挑戦～ & 砂のなるほど教室」	9:50 海浜植物保護センター	小学生以上 (3 年生 以下は保護者同伴)	15 人	

共通事項：野外活動に適した服装・靴、帽子、脱ぎ着できる上着（海辺は内陸より気温が 2℃ほど低く感じられます）、天候に応じて雨具をご持参ください。

野鳥観察の時には、お持ちの方は双眼鏡をご持参ください。開催時間が午前から午後に渡る場合は、昼食（飲み物、敷物含む）をご持参ください。

参加費：備考欄に記述のないものは中学生以下 100 円、高校生以上 300 円です。

問合せ・申込み先：石狩浜海浜植物保護センター tel.0133-60-6107 メール：ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

ホームページ <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/kaihinsyokubutu/>



2011.05.29 海辺の風景再発見フォーラム アンケート集計

回答者 51名／参加者 105名

1) 今回のフォーラムに参加したきっかけは？(複数回答)

1	石狩湾の海の中の映像を見たかった	17
2	パネルディスカッションを聞きたかった	12
3	海・海辺の自然について知りたかった	32
4	海・海辺の保全について考えたかった	24
5	その他	7
	内訳 ・道民レレッジ講座	1
	・新聞を見て	1
	・ゼムハウス藤田さんの紹介、話が聞きたかった	2
	・回答なし	3

2) 基調講演「石狩湾海の中の世界」を聞いた感想(自由記述)

・貴重な映像を見ることができた	5
・興味深い内容だった	12
・驚きや焦燥感を感じた	9
・海辺の生き物や環境を保護する大切さを知った。または、再認識した	5
・考えさせられる内容であった	10
・今後どのように取り組むべきかヒントになった(啓蒙活動の大切さ)	4

※【 別紙① 参照 】 参加者のほとんどは、「海の生きものたち」の映像に興味関心を持ってご覧いただいた。特に、普段見ることのできない海中の映像で、生物の多様性を感じ取ることができたとの意見があった。また、美しい映像に加えて、海獣の弱体化・駆除の問題や海資源の枯渇化等の現状を知って、驚きや焦燥感を感じられる方も多かった。さらに、豊かな海辺の環境保護の大切さを感じたり、再認識している方も多く、保全を考える講演となった様子である。

3) パネルディスカッションを聞いた感想(自由記述)

・興味深いお話が聞けてよかった	2
・理解を深めることができた	3
・保全の難しさを感じた	1
・各分野のお話が聞けて良かった	7
・今後も海辺の魅力を残していきたい	6
・保護の大切さを感じた	5
・今後は、啓蒙活動や教育の拡充が必要だと思う	7
・今後は、実践機会の提供が必要だと思う	1
・横松氏の進行について	2
・志賀氏のお話について	4
・高木氏のお話について	1
・松島氏のお話について	4
・パネルディスカッション内容改善について	6

※【 別紙② 参照 】 各分野のお話が聞けて良かったと好評価をいただいた反面、パネルディスカッションの提言時間や内容改善に対するご指摘もいただいた。各提言者に対する感想の他、全体を通して、今後も海辺の魅力を残していきたいという前向きな感想や保護の必要性を感じている方が多くいた。今後の課題として、環境保護の啓蒙活動や教育の拡充、実践機会の提供等の必要性を感じられている方が見られた。

5) もし、海・海辺の保全活動の情報を得ようとしたとき、どのような方法を望まれますか？(複数回答)

1	HP・ブログへの掲載	26
2	新聞への掲載	25
3	公共施設等での情報誌の配布	23
4	情報誌のダイレクトメール(郵送またはFAX)	4
5	メーリングリストによる配信	3
6	その他	6
	内訳 ・メディア(ラジオやテレビ)の活用	2
	・環境財団の情報配信、メールやウォッチングガイドなどへの掲載	1
	・現地で広報活動および札幌市民への広報	1
	・公共機関等へのチラシの配布やポスター	1
	・HP・ブログへの掲載だけでは、確認しにくい	1



平成23年5月10日

石狩浜海浜植物保護センター
センター長 有田 英之 様

名取ハマボウフウの会
代表 大橋信彦

第2回「ふるさと海辺フォーラム」開催ご案内
～ハマボウフウ・ネットワーク～

拝啓

陽光うららかな日、大波に洗われた閑上の浜にハマボウフウの芽がいっせいに顔をのぞかせています。みなさま、その後いかがお過ごしでしょうか。この度の災害に際しましては、多くの励ましの言葉をみなさまからいただき、こころより感謝申し上げます。

失われたものは決して小さくはありませんが、そこから得たものがあることもまた事実です。それを力に、わたしたちはこの度、第2回「ふるさと海辺フォーラム」を開催することといたしました。海辺フォーラムの精神に則り、それぞれの地域の結びつきを大切にしながら、精一杯、わたしたちに与えられた役割を果たして参ろうと思います。

各団体のみなさまにおかれましては何かとお忙しくなる時期とは存じますが、被災した年に海辺フォーラムを開催することの意義に鑑み奮ってご参加くださいますよう、謹んでご案内申し上げます。

敬具

＜ 開 催 要 項 ＞

- 日 時：平成23年6月18日（土） 午後1時 ～ 午後8時
6月19日（日） 午前9時 ～ 午後3時
- 場 所：第1会場「増田西・老人憩の家」（名取市大手町5-7-2）
第2会場「ハマボウフウ保護区」（名取市閑上海岸）
- 内 容：1日目 基調講演、活動報告、懇親会
2日目 立看板設置（第2会場）、シンポジウム
- 主 催：名取ハマボウフウの会
- 後 援：名取市（予定）
- 協 力：川柳宮城野社、七ヶ浜ハマボウフウの会

以上

[連絡先：090-7066-6014（大橋）]

＜日 程 表＞

■ 6 / 18 (土)

＜内 容＞

＜備考＞

p. m. 1 : 0 0	集 合	＜第 1 会場＞「増田西・老人憩の家」
1 : 1 5	開 会	（司会：今野義正）
	ご挨拶	（名取ハマボウフウの会代表 大橋信彦）
1 : 3 0	基調講演	「名取の海岸の歴史」（仮題）
	＜講師＞	菊地 多賀夫 先生
		（名取市自然と地域とのふれあい活動推進委員会委員長）
2 : 0 0	一休 憩一	
2 : 1 5	活動報告	第 1 部（5 団体：1 団体 x 1 5 分）
3 : 3 0	一休 憩一	
3 : 4 5	活動報告	第 2 部（5 団体：1 団体 x 1 5 分）
5 : 0 0	一終 了一	
6 : 0 0	懇親会	「末廣寿司」（名取市飯野坂）
8 : 0 0	一お 開 き一	＜宿舎＞「ルートイン名取」

■ 6 / 19 (日)

a. m. 9 : 0 0	＜宿舎＞ → ＜閑上海岸＞	・ 移動用車両 x 5 台
1 0 : 0 0	「立看板設置」＜第 2 会場：ハマボウフウ保護区＞	
	「若苗移植会」＜ 同上 ＞：地域住民＋ネットワーク団体＞	
1 1 : 3 0	＜閑上海岸＞ → ＜老人憩の家＞	・ 移動用車両 x 5 台
1 2 : 0 0	一昼 食一	
1 3 : 0 0	シンポジウム	（コーディネーター：今野義正）
	＜テーマ＞「海岸の未来と市民活動」（仮題）	
		～課題提案者・討論参加者など検討中
1 5 : 0 0	一終 了一	＜解 散＞

[参加予定団体]

きたねむろ山菜エコランド（北海道中標津町）、石狩浜海浜植物保護センター（北海道）、横浜町ホテルの里（青森県）、おいらせ町観光協会（青森県）秋田市議会議員（秋田県）、田野畑村産業振興課（岩手県）、名取ハマボウフウの会（宮城県）、七ヶ浜ハマボウフウの会（宮城県）、かしま観光協会（福島県）、寺泊観光協会（新潟県）、ゆい（神奈川県）、九十九里浜の自然を守る会（千葉県）、サンクチュアリジャパン（静岡県）／計 13 団体

＜事務局からのお願い＞

■活動報告について

1日目の各団体の活動報告につきましては、1団体の持ち時間を15分間とさせていただきます（発表の順序は事務局にご一任ください）。映像機器などを使用する場合には、その旨を5月末日までにお知らせください。尚、映像素材はCD、USBなどのメモリー機器でお送りください（当方で事前に一本化作業を行います）。

■復興イベントについて

2日目の午前は関上海岸のハマボウフウ保護区＜跡地＞で災害復興を願ってのイベントを計画しております。現地までは当方で送迎用の車を用意いたします。[午前9時出発予定]

・イベント：「保護区立看板設置」、「若苗移植会」（参加者全員）

■交通機関について

開催地までの交通機関につきましては、参加団体各自で決定してください。尚、当日の到着場所（空港、港、駅）、到着時間をお知らせください（送迎用の車を当方で用意いたします）。併せて、当日の連絡方法（ご担当者の携帯電話番号）をお知らせください。

■宿泊について

宿泊先につきましては、当地のビジネスホテル「ルートイン名取」を考えております。特別の事情がなければ当方で一括予約をさせていただきますので、宿泊者の人数をお知らせください＜5月末＞。尚、宿泊代は各自ご精算くださいますようお願い申し上げます。

※「ホテル ルートイン名取」＜名取市増田字関下37：tel.022-784-4450＞

・宿泊料金：シングル@6,600円＜朝食代、駐車料を含む＞

■懇親会について

懇親会の会場につきましては、当地の「末廣寿司」（名取市飯野坂）を考えております。

1名様5,000円(税込)の会費制とさせていただきます、よろしくお願い申し上げます。

[備考：通信手段について]

災害で流失した代表者（大橋）のパソコン、携帯電話などが復活いたしました。

・携帯電話番号：090-7066-6014（大橋）

・E-mail：アドレス [n-ohashi@swan.ocn.ne.jp]

・新住所（大橋）：〒981-1232 名取市大手町4-18-2 A-103号

（自宅の電話はございません）